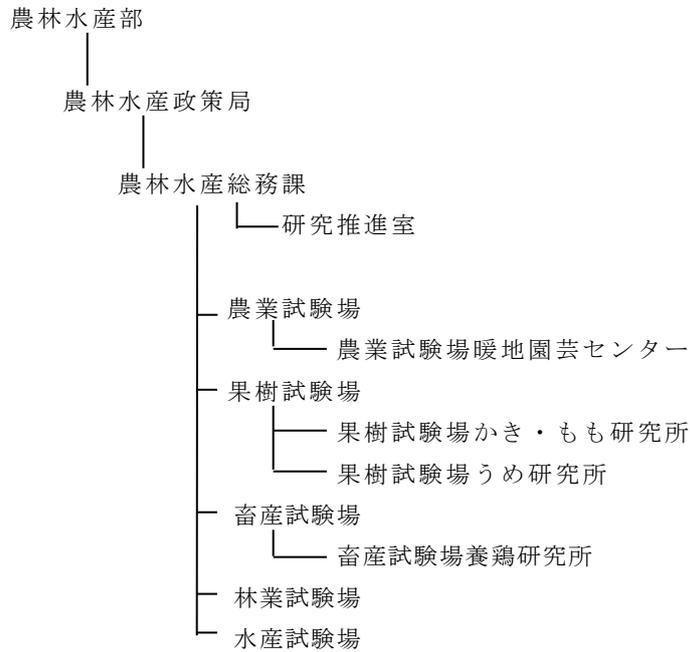


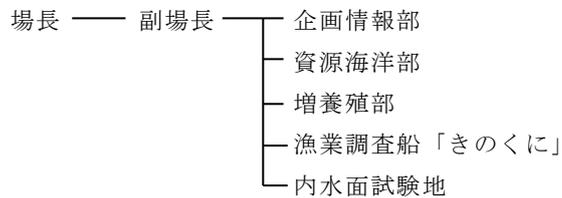
水産試験場概要

I 機構と組織

1. 機構



2. 内部組織



3. 職員の構成

区 分	行政職	研究職	現業職	計
場長		1		1
副場長		1		1
企画情報部		2	1	3
資源海洋部		5		5
増養殖部	1	5		6
漁業調査船	6			6
内水面試験地		4		4
	7	18	1	26

4. 職員と事務分担

部 名	職 名	氏 名	事務分担
	場 長	小久保 友義	場の総合企画及び総括に関すること
	副場長	小川 満也	場長の補佐, 人事, 服務, 庁舎の管理, 予算の総括に関すること
企画情報部	部 長	葦澤 崇博	部の総括・企画調整, 流通対策, 庶務, 成果の公表・普及に関すること
	主任研究員	木下 浩樹	藻場造成(ホンダワラ類)・魚礁調査に関すること
	用務員	田中 千秋	庁舎内の清掃に関すること
資源海洋部	部 長	武田 保幸	部の総括・企画調整, 漁海況速報に関すること
	主任研究員	中地 良樹	漁業資源・漁場調査と情報提供(総括), 海洋観測に関すること
	副主査研究員	山根 弘士	高精度海況図, 海況日報作成, 船びき網漁業, 高度回遊性魚類(マグロ類)に関すること
	副主査研究員	武田 崇史	卵稚仔調査, まき網漁業, 資源管理・回復推進に関すること
	副主査研究員	小林 慧一	高度回遊性魚類(カツオ), カツオマップ, 水産重要種の移動・回遊に関すること
増養殖部	部 長	森 康雅	部の総括・企画調整, 飼育施設等の保守管理に関すること
	主査研究員	堅田 昌英	水産衛生対策, 漁場環境(赤潮・貝毒)に関すること
	主査研究員	加藤 文仁	魚類種苗生産・養殖, 栽培漁業に関すること
	主 査	佐々木 明生	調査研究の補助, 船舶「なぎ丸」・海上筏の管理に関すること
	副主査研究員	竜田 直樹	藻場造成(コンブ目), スマの種苗生産・養殖に関すること
	研究員	北村 章博	漁場環境(生物モニタリング), 介類増養殖, 魚礁調査(投石)に関すること
漁業調査船 (きのくに)	船 長	西 博	船舶の管理・運航, 海洋観測調査, 飼育施設等の保守管理に関すること
	機関長	岸 幸一	〃
	主査航海士	小西 寛弥	〃
	主査機関士	平見 謹一	〃
	主査機関士	堀 浩一	〃
	副主査航海士	住谷 勝志	〃
内水面試験地	主任研究員	林 寛文	ウナギ資源に関すること
	副主査研究員	河合 俊輔	水産衛生対策, アユ冷水病対策に関すること
	副主査研究員	中西 一	内水面漁業・養殖技術指導に関すること
	研究員	賀集 健太	アユ資源, 飼育試験に関すること

II 業務

1. 試験研究項目一覧

単位（千円）

事業名又は課題名	予算額	財源内訳			
		国庫	使用料・手数料	諸収入	一般財源
水産試験場費	95,487	25,549	1,946		67,233
水産試験場運営	16,341				16,341
内水面試験地運営	6,212		1,946		3,507
調査船運航	32,678				32,678
代船建造	7,205				7,205
シロアマダイの種苗生産技術の開発	1,850				1,850
天然ヒジキ増大に向けたヒジキ移植技術の開発 ～人工種苗を用いた早期移植の試み～	1,350				1,350
漁業資源・漁場調査と情報提供	13,731	13,731			
高度回遊性魚類調査	7,830	7,830			
水産重要種の移動・回遊状況に関する基礎研究	460				460
スマの種苗生産および中間育成に関する低コスト化技術開発	1,960				1,960
水産衛生対策	1,764	882			882
病害微生物モニタリングのための基礎研究	500				500
海域の栄養塩環境が二枚貝生産に及ぼす影響調査	1,740	1,740			
アユ資源量に関する基礎調査	500				500
河川及び海域での鰻来遊・生息調査	100	100			
環境収容力推定手法開発	1,266	1,266			
水産業振興費	2,175				2,175
資源管理・回復推進（資源管理課）	1,364				1,364
漁場環境保全等モニタリング（資源管理課）	120				120
栽培漁業推進（水産振興課）	691				691
漁業調整費	54				54
漁業・遊漁調整（資源管理課）	54				54
漁業構造改善費	788				788
漁場効果調査（水産振興課）	688				688
プエルルス調査（水産振興課）	100				100
	98,504	25,549	1,946		70,250

Ⅲ 業績

1. 外部に発表した事項

- (1) 一般雑誌 なし
- (2) 書籍 なし
- (3) 学会等の発表

題 名	発 表 者	発 表 誌
・ 紀伊水道外域におけるサバ類の近年の漁獲動向及び成熟度・肥満度の季節変化	武田崇史	平成 30 年度資源海洋調査研究会（口頭発表）
・ 紀伊水道北東部におけるクマエビの生態に関する基礎的知見	小林慧一	黒潮の資源海洋研究(19)
・ 黒潮大蛇行に伴う和歌山県潮岬周辺の海況の変化	小林慧一	平成 30 年度資源海洋調査研究会（口頭発表）黒潮資源海洋研究(20)
・ 和歌山県におけるカツオひき縄漁の動向とカツオ研究の紹介	小林慧一	日本カツオ学会フォーラム
・ 和歌山県におけるカツオ標識放流調査と電子標識装着個体の暫定的な移動経路推定結果	小林慧一	平成 30 年度国際水産資源関係研究開発推進会議カツオ研究部会
・ 紀伊水道周辺海域におけるマルアジ肥満度の季節変化	武田保幸 原田慈雄 武田崇史	和歌山県農林水産試験研究機関研究報告 第7号
・ 紀伊水道外域におけるサバ類の近年の漁獲動向及び海況予測	武田崇史 武田保幸	和歌山県農林水産試験研究機関研究報告 第7号
・ 滑走細菌の検出に用いる LAMP 法の開発	堅田昌英	和歌山県農林水産試験研究機関研究報告 第7号

(4) 委託事業報告書等刊行物

- 1) 漁海況速報（週刊）
- 2) 人工衛星画像海況速報（2018-No.37～120, 2019-No.1～32）

(5)農林水産省研究会等資料

題 名	発 表 者	発 表 誌
・2018年におけるカツオひき縄春漁の経過	小林慧一	平成30年度国際漁業資源評価調査 ・情報提供委託事業1回カツオSU 推進検討会資料
・2018年のカツオ漁況について	小林慧一	平成30年度国際漁業資源評価調査 ・情報提供委託事業第3回カツオ SU推進検討会資料
・平成30年度中央ブロック資源評価および第1回太平洋 イワシ、アジ、サバ等長期漁海況予報について	山根弘士 武田崇史 中地良樹	平成30年度中央ブロック資源評価 会議および第1回太平洋イワシ、ア ジ、サバ等長期漁海況予報会議資料
・平成30年度瀬戸内海ブロックにおけるサワラ、カタ クチイワシ・マダイ等の資源評価について	山根弘士 武田崇史 小林慧一	平成30年度瀬戸内海ブロック資源 評価会議資料
・平成30年度中央ブロック第2回太平洋イワシ、アジ、 サバ等の長期漁海況予報および資源評価について	山根弘士 武田崇史 中地良樹	平成30年度中央ブロック第2回太 平洋イワシ、アジ、サバ等長期漁海 況予報会議、第3回資源評価調査担 当者会議資料
・平成30年度のマグロ類・カジキ類・サメ類の海況等に ついて	小林慧一	平成30年度国際漁業資源評価調査 ・情報提供委託事業年度末報告会資 料
・水産庁補助事業 魚食普及推進セミナー「アニサキス を中心とした食中毒対策」	堅田昌英	水産庁補助事業 魚食普及推進セ ミナー「アニサキスを中心とした食 中毒対策」資料
・平成30年度第2回水産増殖懇話会講演会	堅田昌英	平成30年度第2回水産増殖懇話会 講演会資料
・LAMP法による滑走細菌の検出	堅田昌英	平成30年度瀬戸内海・四国ブロッ ク魚病検討会資料
・平成30年度水産用医薬品薬事監視講習会	堅田昌英	平成30年度水産用医薬品薬事監視 講習会資料
・LAMP法による滑走細菌の検出	堅田昌英	平成30年度養殖衛生管理体制整備 事業太平洋ブロック地域合同検討 会資料
・平成30年度魚病診断技術情報交換会	堅田昌英	平成30年度魚病診断技術情報交換 会資料
・平成30年度ブリ類の難治癒疾病連絡協議会	堅田昌英	平成30年度ブリ類の難治癒疾病連 絡協議会資料
・平成30年度魚病症例研究会	堅田昌英	平成30年度魚病症例研究会資料
・平成30年度水産増養殖関係研究開発推進会議魚病部会	堅田昌英	平成30年度水産増養殖関係研究開 発推進会議 魚病部会資料
・第11回LAMP研究会	堅田昌英	第11回LAMP研究会資料
・平成30年度全国養殖衛生管理推進会議	堅田昌英	平成30年度全国養殖衛生管理推進 会議資料
・平成30年1～10月の和歌山県における赤潮及び貝毒の	堅田昌英	平成30年度漁場環境保全関係研究

発生状況		開発推進会議赤潮・貝毒部会資料
・カキのノロウイルスに関する情報交換会	堅田昌英	カキのノロウイルスに関する情報交換会資料
・研究機関情勢に係る報告	森 康雅	平成 30 年度瀬戸内海ブロック水産業関係研究開発推進会議 生産環境部会資料
・紀伊水道の栄養塩環境が二枚貝生産に及ぼす影響解明について	北村章博	平成 30 年度漁場環境改善推進事業「栄養塩の水産資源に及ぼす影響の調査」資料
・研究機関情勢に係る報告	葦澤崇博	平成 30 年度中央ブロック水産業関係研究開発推進会議 資源生産部会資料
・紀伊水道の栄養塩環境が二枚貝生産に及ぼす影響解明について	北村章博	平成 30 年度漁場環境改善推進事業「栄養塩の水産資源に及ぼす影響の調査」結果検討会議資料
・平成 30 年度種苗生産・放流状況に関する情報提供	北村章博	平成 30 年度ナマコ種苗生産研究会資料
・和歌山県におけるニホンウナギの移動状況等の把握	林 寛文	平成 30 年度河川及び海域での鰻来遊・生息調査事業報告会資料
・養殖アユで発症したエロモナス感染症について	河合俊輔	第 32 回近畿中国四国ブロック内水面魚類防疫検討会資料
・魚病症例の話題提供について	河合俊輔	平成 30 年度魚病症例研究会資料
・魚病発生状況、水産防疫に係る事業説明、及び研究開発ニーズの回答について	河合俊輔	平成 30 年度水産増殖関係研究開発推進会議 魚病部会資料
・日高川における近年のアユ遡上状況について	賀集健太	平成 30 年度アユ資源研究部会資料

(6) 新聞掲載

記事見出し（内容）	掲載年月日	掲載紙名
・シロアマダイ放流で漁獲量安定を 県水試 稚魚生産へ着手	2018. 4. 27	紀伊民報
・アユと冷水病の認識共有 県水産試験場招き講演会 古座川	2019. 1. 30	熊野新聞

(7) 研究発表会

1) 県内養殖衛生対策会議

・実施日

平成 30 年 11 月 22 日

・場 所

水産試験場学習ホール

・内 容（発表題目、発表者）

・ LAMP 法による滑走細菌の検出	増養殖部	堅田昌英
・ 水産用医薬品の適正使用について	増養殖部	堅田昌英
・ 和歌山県におけるクエ増殖の取り組み	増養殖部	加藤文仁
・ スマ種苗生産の安定化技術開発について	増養殖部	竜田直樹
・ 串本浅海・うらみ養殖場の漁場環境について	増養殖部	北村章博

2)内水面養殖衛生対策会議

- ・実施日
平成 30 年 11 月 9 日
- ・場 所
内水面試験地会議室
- ・内 容
 - ・疾病検査状況について
 - ・水産用抗菌剤の適正使用確保のための仕組みについて

(8)水産試験場成果発表会

- ・実施日
平成 31 年 2 月 12 日
- ・場 所
紀南文化会館小ホール(田辺市)
- ・共 催
公益財団法人わかやま産業振興財団
- ・内 容 (講演及び発表題目,講演者及び発表者)
 - 基調講演 「最近の黒潮流路・黒潮大蛇行の予測」
国立研究開発法人 水産研究・教育機構 中央水産研究所
海洋・生態系研究センター
モニタリンググループ長 瀬藤 聡 氏

成果発表

- | | | |
|--------------------------------|--------|-------|
| ・スマの種苗生産および中間育成に関する低コスト化技術の開発 | 増養殖部 | 竜田 直樹 |
| ・和歌山県におけるカツオ標識放流調査と移動経路の推定結果紹介 | 資源海洋部 | 小林 慧一 |
| ・紀伊水道外域におけるサバ類の近年の漁獲動向と漁況予測 | 資源海洋部 | 武田 崇史 |
| ・ニホンウナギの来遊状況と生息環境 | 内水面試験地 | 林 寛文 |

2 研修生・見学者の受け入れ

(1)研修生の受け入れ

1)地域社会体験研修

串本西中学校教諭 (2 名) 7 月 31 日 ~ 8 月 1 日

2)インターンシップ

・長期インターンシップ

県立串本古座高校 (2 年生 2 名) 9 月 7 日, 9 月 21 日, 9 月 28 日, 10 月 5 日, 10 月 19 日
10 月 26 日, 11 月 9 日, 11 月 16 日, 12 月 7 日, 12 月 14 日

・海洋環境講座

県立串本古座高校 (2 年生 22 名) 4 月 24 日, 6 月 5 日, 8 月 28 日, 9 月 4 日

3)職場体験学習

串本町立潮岬中学校 (2 年生 1 名) 9 月 26 日 ~ 9 月 28 日

4)職場訪問 (総合学習)

串本町立串本西中学校 (2 年生 7 名) 10 月 11 日

(2)くろしおふれあい講座

1)参加者

- ・田辺市 中芳養小学校 (18 名) 6 月 21 日
- ・田辺市 上山路小学校 (22 名) 11 月 2 日

2)内 容

水産試験場概要説明, 和歌山の漁業に関する説明, 海藻の分類, 見学